

令和 2 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 仁和会

府中はるみ福祉園

総 括

令和2年度は新型コロナウイルス対策に明け暮れた一年となりました。更に、はるみ福祉園全面建て替え工事による仮設園舎の建設が3月より始まり7月より仮設地（栄町）での生活が始まりました。

4月より新規の利用者2名を迎え入れております。定員36名、実員39名となります。

年度当初に発出された緊急事態宣言を受け、分散登園がスタートしました。解除となった5月下旬まで継続することになりました。日々の生活では、健康管理として家庭での毎日の体温測定、体調観察を記録していただき、マスクの着用、手洗いうがいの励行、パーテーションの活用、共有部分のアルコール消毒、換気の徹底、三密を避けた活動、食事時間を二班に分ける等々の対応に明け暮れました。

行事としては、桜まつりを皮切りに軽スポーツ大会、福祉まつり、一泊研修旅行等々が中止となりました。唯一グループ外出活動として、10月、11月に9班に分かれ昭和記念公園に行くことが出来ました。12月の感染再拡大に伴い、ダンスや軽体操も中止となりました。ショッピングバックの仕事もゼロの状況もありましたが、後半には従来通りの仕事を頂けるまでになりました。委託作業が少ない時には、各自が創作活動や自主プログラムにチャレンジしていただきました。さらに公園清掃、散歩、三密を避けながらの外出活動等を積極的に行いました。

職員については、次年度の事業（東京都重症心身障害者通所事業）を見据えて医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養）の研修（実地試験含む）を継続的に実施しました。

仮設園舎への引越は、利用者の皆さまにもご協力いただくことになりました。その中でコロナ対策も重なり、手狭な仮設園舎で不便な中、利用者も職員も大変な苦労を経験することになりました。

「コロナにまけずにがんばろう！」を合言葉に仮設園舎で過ごした一年となりました。

目 次

第1章	施設運営の実施状況	2
第2章	障害福祉サービス	3
第3章	健康管理	5
第4章	相談、苦情対応、虐待の防止	6
第5章	家族との連携	7
第6章	援護の実施者、協力機関との連携	7
第7章	職員体制	8
第8章	会議・研修等	9
第9章	災害対策・事故対応	10

※年齢、実績等のデータは、特記がない場合は令和3年3月31日現在で計上。

第 1 章 施設運営の実施状況

1. 利用実績

(1) 利用定員	36名
(2) 利用現員	39名
(3) 欠員数	0名
(4) 新規利用者数	2名
(5) 退所者数	0名
(6) 長期欠席者数	2名

※府中市 35名、小金井市 1名、八王子市 1名、武蔵野市 1名
渋谷区 1名

2. 利用者の状況

(1) 年齢階層別

年齢層	男	女	計
18～19	1		1
20～29	6	3	9
30～39	3	2	5
40～49	5	3	8
50～59	8	6	14
60～69		2	2
70以上			
計	23	16	39
平均年齢	41.4歳	45.8歳	43.2歳

(2) 障害支援区分

程度	男	女	計
区分 1			
区分 2		1	1
区分 3	3	2	5
区分 4	9	9	18
区分 5	7	3	10
区分 6	4	1	5
計	23	16	39
平均	4.52	4.06	4.29

(3) 延べ利用日数

程 度	男	女	計
区 分 1			
区 分 2		2 2	2 2
区 分 3	9 6 4	7 0 4	1, 6 6 8
区 分 4	2, 1 3 6	2, 0 5 5	4, 1 9 1
区 分 5	1, 3 2 5	6 0 6	1, 9 3 1
区 分 6	6 7 1	1 4 6	8 1 7
計	5, 0 9 6	3, 5 1 1	8, 6 2 9
平均支援区分	4. 3 3	4. 0 7	4. 2 1

(4) 日常生活動作

内 容	支援・助言	一部介助	全部介助
食 事 支 援	6	1	1
排 泄 支 援	3	4	1
着 脱 衣 支 援		2	1
歩 行 支 援	2	1	1
車 椅 子 利 用 者	2	1	1
お む っ 使 用 者	1		1
寝 返 り 支 援			1

第 2 章 障害福祉サービス

1. 個別支援計画

個別支援計画は、サービス等利用計画作成時及び同モニタリングの時期に利用者、その家族のご要望を聞き取る面談を実施し、目標の達成度や課題を見直して適切な支援ができるようにまたニーズの実現に向けて作成しました。

2. 日中活動支援

受託作業を主体にしながら、利用者の仕事が途切れないようにプログラムして活動を提供しました。年間を通じた府中はるみ福祉園の稼働率は80.24%でした。

(4月5月の分散登園の影響により例年より低下しています。)

受託作業では、ショッピングバッグの製作・市役所の委託作業で野球場外周の除草作業、寿中央公園、押立町公園の清掃を行いました。

自主製品作りでは、これまでのビーズアクセサリ、ミサンガの他に、端切れを活用したシュシュなどの手芸品や既製品に付加価値をつけたマグネットホルダーなどの新しい小物雑貨類の作品作りに挑戦しました。

その他の活動は、下記のように実施しました。

- ダンス : 月に2回 コロナの影響で中止期間あり
軽体操 : 月に2回 コロナの影響で中止期間あり
音楽 : コロナの影響で中止及び規模を縮小して実施
にんな祭(9月)中止 福祉祭り(10月)中止
運動プログラム(陸上競技場ウォーク) コロナの影響で中止
散歩 : 適宜実施
誕生会 : 毎月1回(主に土曜開園日)

3. 活動による収入と支出

・収入	令和2年度	令和元年度
① 寿中央・押立町公園清掃	1,775,206円	1,848,011円
② 自主製品販売	17,700円	90,160円
③ 受託(下請け)作業	507,799円	936,891円
④ イベント収入(団子販売)	0円	46,740円
計	2,300,705円	2,921,802円

・支出	令和2年度	令和元年度
① 自主製品原材料	26,695円	47,480円
② 利用者工賃	述べ支給額	2,869,539円
	延べ支給人数	428名
	平均月額工賃	6,704円
	～4,000円	～5,000円
	7名	17名
		15名

4. 日課

- ～ 9:15 登園(利用者受入れ・活動準備)
9:15～ 9:30 朝のミーティング・ラジオ体操
9:30～10:30 午前の作業・活動①
10:30～10:45 体操・休憩
10:45～11:45 午前の作業・活動②
11:45～12:20 体操・昼食
12:20～13:00 昼休み
13:00～14:00 午後の作業・活動①
14:00～14:15 体操・休憩
14:15～15:30 午後の作業・活動②
15:30～16:00 清掃・着替え・ストレッチ・帰りのミーティング
16:00～ 降園

※今年度については食事時間を11時45分からと12時45分からとの二班に分けて行いました。

5. 年間行事は下記のように実施（中止）しました。

	行事	日程	担当職員
4月	桜まつり 中止	4(土)5(日)	長島・大村
5月	交通安全指導 中止 軽スポーツ大会 中止	14(月) 23(土)	上岡 小原・上岡
6月	歯科検診 中止	7(金)	看護師
7月	一泊研修旅 中止 寿町盆踊り 中止	13(月)14(火) 25(土)26(日)	施設長 上岡・大村
8月	プール開放 中止 総合健康診査 商工まつり 中止 夏季特別期間	4(火) 3(月)4(火)7(金) 7(金) 13(木)～15(土)	大村・長島 看護師 上岡・長島 施設長
9月	にんな祭 中止	5(土)	施設長
10月	福祉まつり 中止 グループ外出 ・昭和記念公園①から⑥	6・13・14 21・22・27の各日	小原・長島 支援員
11月	グループ外出 ・昭和記念公園⑦から⑨	10・11・17の各日	支援員
12月	W a i W a i フェスティバル 中止 クリスマス会	5(土) 23(水)	大村・小原 上岡・長島
1月	新年抱負の会	4(金)	大村
2月	歯垢検査 中止	未定	看護師
3月	ボランティアさんに感謝！ 中止 総合防災訓練 中止	個別毎 27(金)	施設長 施設長

第 3 章 健康管理

健康管理は下記のとおり実施しました。

1. 利用者の健康管理

(1) 入所時の確認

当施設利用開始に当たり、過去にかかった病気、既往症及び過去に接種した予防注射の確認、緊急時の連絡先など詳細な把握を行いました。

(2) 服薬の確認

年度初めに、服薬の状況を保護者様に確認し、薬と疾病の関連を状況把握して緊急時に備えました。日々、服薬した利用者様は保健日誌に記録して保管しました。

(3) 保健行事

①定期健診

新型コロナウイルスの状況に応じて、嘱託医による健康診断を実施しました。

②総合健診

年に1回（8月）提携医療機関にて実施しました。

③ 歯科検診

例年実施していた年1回の検診及び歯科衛生士による歯垢検査は、新型コロナウイルス感染防止のため中止としました。

(4) 日々の視診について

日々の利用者様の体調の把握を行い急変に備えると共に支援員等と情報を共有し対応しました。定時の体温測定を実施しました。

(5) 衛生習慣の確認

手洗い確認と歯磨き確認を隔月で交互に行い意識向上を図りました。

(6) 血圧測定

毎水曜日に実施し、平常値を把握し、状況により嘱託医に相談し保護者様に報告対応しました。

(7) 医療的ケアの対応

社会福祉法人仁和会医療的ケア実施要綱及び府中はるみ福祉園医療的ケア実施基準に基づき実施しました。また安全で安心な活動を全般的に確保するため、医療安全管理委員会を設置し、定期的に会議を開催しました。

(8) 新型コロナウイルス感染防止の対応

連絡帳による日々の体温測定、体調記録を実施するとともに、共有部分の定時アルコール消毒、換気の徹底、パーテーションの設置、加湿器の設置等を行いました。食事時間を二班に分ける等、三密にならない活動の実施。

第 4 章 相談、苦情対応、虐待の防止

1. グッドパーソン

「法人グッドパーソン規程」に基づき年6回各委員に各施設に来園していただき、施設の進捗状況や利用者・職員への聞き取り等を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からすべて中止としました。

2. 苦情対応

苦情については「法人苦情対応規程」に基づき下記のとおり体制整備を行いましたが、規程に基づく本年度の苦情はありませんでした。

役 割	氏 名	連 絡 先
苦情解決責任者	堀井 恵一（施設長） 松下 民夫（8月から）	0 4 2 - 3 3 3 - 7 5 5 5
苦情受付担当者	小原 夏子（主任支援員） 大村 智裕（生活支援員）	0 4 2 - 3 3 3 - 7 5 5 5
第 三 者 委 員 （グットパーソン）	井出 政俊 様 田中 眞知子 様	0 4 2 - 3 6 4 - 0 6 3 7 0 4 2 - 3 6 0 - 1 2 9 4

3. 虐待の防止

令和2年11月に法人全職員に「障害者虐待防止セルフチェックリスト」を実施しました。

令和3年2月法人研修として、日本アンガーマネジメント協会 岸辺知佐子先生の講師により「アンガーマネジメント基礎研修」その3を法人職員、利用者家族へ動画視聴方式により実施しました。

第 5 章 家族との連携

1. 保護者会の実施状況

今年度は年4回（6月・8月・12月・3月）予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべて中止といたしました。

2. 在宅支援

新型コロナウイルスによる非常事態宣言下の分散登園時には在宅支援として、電話にて利用者の健康状況の把握に努めました。また必要に応じて訪問支援も行いました。

3. その他

利用者およびご家族が日々の生活を安心して過ごせるようにご家族と随時、連絡帳などを通じて情報を共有して連携を図りました。また随時、困りごとなどある場合は相談に応じました。

第 6 章 援護の実施者、協力機関等との連携

1. 援護の実施者との連携

利用者の入所、退所に伴う障害福祉サービスの手続きや障害者支援区分の認定調査等が適切に行えるよう連携し調整を実施しました。

2. グループホーム「せんげん」との連携

緊急時のバックアップ体制を整えているグループホーム「せんげん」との連携体制の確立や、日常的な情報交換を積極的に行いました。

3. サポートにんなどの連携

個別支援計画書作成およびモニタリング報告書の作成のための会議と面談のある時は、可能な限り、相談支援専門員に同席していただき、総合的な援助の方針との齟齬がないように連携しました。

4. ボランティア、実習生の受入れ状況。

(1) ボランティア

基本的にはお断りをしていましたが、非常事態宣言発出中や感染拡大期を除いた期間の月曜日について1名ご参加をいただきました。

(2) 実習生

今年度は新型コロナ感染拡大防止のため、例年実施していた、教職員の介護体験実習、中学生の職場体験実習、三菱UFJ銀行職員の新任研修についてすべて中止となりました。

(3) 都立特別支援学校等の現場実習の受け入れ

入所に向けた、けやきの森学園高等部3年生2名について実習を行いました。

5. 見学者の受入れ状況

今年度については新型コロナウイルス感染拡大予防のためお断りしました。

6. 地元町内会との連携

- ・寿町 納涼盆踊り大会 中止 (7/25・26)
- ・寿町 町内会新年会 中止 (1/23)

第 7 章 職員体制

1. 採用

- ・齋藤 あゆみ (常勤・生活支援員) 3月 1日付

2. 異動

- ・大村 智裕 主任生活支援員に昇任 4月 1日付
- ・松下 民夫 はるみ福祉園施設長へ 8月 1日付

第 8 章 会議・研修等

1. 会 議

- | | |
|-----------|-----------------------|
| (1) 職員会議 | 1 2 回(毎月) |
| (2) 保護者会 | 年 3 回 (6 月、8 月、1 2 月) |
| (3) 管理職会議 | 毎月第 1、3、最終水曜日等 |
| (4) 主任会議 | 1 2 回(毎月第 3 水曜日等) |

2. 研 修

(1) 法人内研修

法人内全体研修は、下記の 4 回が実施されました。

- ・ 9 月 1 9 日 「ハラスメントの防止について」
「支援力向上～見つめる力」リモートにて
- ・ 1 1 月 2 1 日 「ケースカンファレンス」他（各施設の事例検討）リモートにて
- ・ 2 月 2 0 日 虐待防止研修（日本アンガーマネジメント協会
岸部 知佐子講師）リモートにて
- ・ 3 月 1 3 日 「来年度の事業計画について」リモートにて

(2) 外部研修

- ・ 強度行動障害支援者養成研修（基礎）コロナの影響により中止
- ・ 強度行動障害支援者養成研修（実践）コロナの影響により中止
- ・ 次年度の事業（東京都重症心身障害者通所事業）を見据えて、介護職員による喀痰吸引及び経管栄養の研修（東京都）を特定の者対象研修に 5 名、不特定の者対象研修に 3 名それぞれ実地研修含め受講しました。

(3) 文書研修

法人内委員会等の議事録、関係機関からの通達、冊子等の情報を回覧し、各自資質を向上させることに努めました。

(4) 実地研修

上記の机上の研修のほか、実地の場面での教育、研修（O J T = オンザジョブトレーニング）を実施しました。

第 9 章 災害対策・事故対応

利用者の生命、身体および財産を保護するため、下記のとおり対策、訓練及び対応を実施しました。

1. 防火設備等の点検
年 2 回 実施しました。

2. 避難訓練等
以下のとおり防災訓練を実施しました。

	区 分	内 容
4 月 1 3 日	自主防災訓練	非常事態宣言発出のため中止
5 月 1 8 日	自主防災訓練	非常事態宣言発出のため中止
6 月 2 2 日	自主防災訓練	2 F 厨房より出火想定
7 月 2 0 日	自主防災訓練	火災想定（仮設園舎にて）
8 月 1 7 日	自主防災訓練	地震想定（仮設園舎にて）
9 月 1 4 日	自主防災訓練	火災想定（仮設園舎にて）
1 0 月 1 9 日	自主防災訓練	地震想定（仮設園舎にて）
1 1 月 1 6 日	自主防災訓練	火災想定（仮設園舎にて）
1 2 月 2 1 日	自主防災訓練	地震想定（仮設園舎にて）
1 月 1 8 日	自主防災訓練	火災想定（仮設園舎にて）
2 月 1 5 日	自主防災訓練	地震想定（仮設園舎にて）
3 月 1 5 日	総合防災訓練	さくらの杜との合同にて予定していたが、新型コロナのため中止 火災想定（仮設園舎にて）は実施

3. 事故について
施設賠償保険適用事案はありません。